



長良川の環境改善を求めて県に要請を行った出席者＝県議会棟

木曾川導水路事業  
説明会実施求める  
市民団体が県に要請

徳山ダム(揖斐郡揖斐川町)の水を木曾川・長良川に流す木曾川水系連絡導水路事業を巡り、長良川の環境改善を目指す市民団体である「よみがえれ長良川実行委員会」は、事業主体の水資源機構による説明会の実施などを求めて、県に要請書を出した。

同機は昨年11月、環境影響を検討する「環境レポート」の作成に向け、説明会を開催した。県は今年3月、レポートの調査項目や手法に関して、関係自治体や有識者の意見を取りまとめ、243項目の意見を提出した。同委員会と同機構の県民への説明が不十分で、事業の必要性も再検討すべきと訴える。

粕谷志郎共同代表ら13人が県議会棟を訪れ、河川課の担当者に要請書を手渡した。意見交換で水需要を正しく分析し、渇水対策の議論をすべきと主張。事業の費用対効果にも疑問を投げかけ「岐阜県にとってメリットがない」と訴えた。

このほか、長良川河口堰の開門調査に向けた対話の場の設置や美濃市横越の長良川に「遊水池」という名目で構造物を建設しないように求めた。(青山和史)

2026/6/20 岐阜新聞

# 長良川の環境改善

## 岐阜市民団体が知事要請



意見を述べる富樫(左端)、粕谷氏(左から3人目)ら参加者18日、岐阜県庁

「よみがえれ長良川実行委員会」の粕谷志郎共同代表ら13人は18日に岐阜県庁を訪れ、江崎禎英知事あてに「長良川の環境改善をもとめる要請書」を提出し、関係部局と懇談しました。

日本共産党の中川裕子議員が同席しました。

要請書では「長良川の汽水域の回復」「木曾川水系導水路事業の目的、内容」「横越「遊水池」の建設中止」の3項目について求めました。

対応した県河川課長は、従来の県の方針に基づいて長良川の環境調査検討を継

続していくと回答。粕谷氏は「環境改善のために汽水域を回復するという点を県はどう考えるのか」と追及し、塩害の可能性を指摘する県に対しては「センサーなどを使って塩害を防いで汽水域を回復できる。汽水域の回復が一番の環境改善だ」と指摘しました。

富樫幸一氏は「同じ水資源機構が創始である利根川河口堰(せき)では部分的開門をして汽水域を回復させている。長良川でも具体的な検討をしていく必要がある。関連団体、自治体で開かれた討議の場が必要だ」と訴えました。

武藤仁事務局長は「河口堰運用から30年がたち川も

海も状況が変わっている。県当局は広く情報を得て積

極的に見直しをしてほしい」と要望しました。

2026/6/20 しんぶん赤旗

## 木曾川水系導水路 県に説明会求める

### 反対の市民団体

長良川の環境改善を目指し、木曾川水系連絡導水路事業の中止を求めている市民団体「よみがえれ長良川

実行委員会」は18日、事業者の水資源機構に対し、住民説明会の開催を県が促すことなど、3項目を県に要請した。

県は「事業実施に際しては適切な対応を求めている」と回答した。導水路事

業では、県の事業費負担は約75億円で、市民団体から「事業費もかかるし環境への影響も心配なのに、岐阜県にとつてのメリットがない」など意見が出た。

(大塚涼矢)

2026/6/20 中日新聞